

# Harmony.

NO.234  
2023.10月号



関西ハーモニカ連盟会報

## 関西ハーモニカ連盟 組織 2023年10月1日現在

常任理事	理事長	吹上 晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町757-107 電話 (FAX) 075-411-1531、090-8482-4806	19人
	副理事長 (兼)事務局長	源馬 英人 (事務局次長)	〒520-2101 大津市青山8-6-14 電話 (FAX) 077-549-3329 角野まゆみ	
	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進 (コンテスト委員長) (ハモ祭り委員長) (活性化促進委員長)	〒599-8116 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808、FAX 072-286-4890 梁木 進 中崎利枝子 (兼)、松本孝司 鐘ヶ江義行 富久鉄男、西本豪介 (兼)、松本千佳子 (兼) 小川未佐子 新井尚子 (兼)、住田陽子 (兼) (補佐理事: 小野浩子、雑賀健)	
	編集局長	もり・けん (編集局次長)	〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 (FAX) 0725-57-7235 岩本洋之 鐘ヶ江義行 (兼)、筒井茂義、中崎利枝子 (補佐理事: 北村サユリ、竹内寿子、西尾好美)	
	研修部長	小林 由美子	〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 (FAX) 0798-22-1844 新井尚子、住田陽子、西本豪介 (補佐理事: 小林希久子)	
	組織部長	丸山 茂生 (組織部次長)	〒666-0122 川西市東多田3-4-1-703 電話 (FAX) 072-793-7164 松本千佳子	
	会計部長	木ノ山 洋子	〒617-0006 向日市上植野町南小路26 電話 (FAX) 075-921-6588 角野まゆみ (兼)	
	理事 事 (50音順)	青木鈴子、稻垣裕子、井上孝子、内田常雄、岡本修子、小野浩子 金丸寿夫、加納克芳、喜多創平、北村サユリ、木原淳、黒谷マス子 源馬恵子、小林希久子、小林美津子、雑賀健、佐藤長、園真佳 高阪他美子、高山美千代、田口史郎、田口幸輝、竹内寿子、谷口昌子 永野富康、新山ミツ子、西尾好美、新田真理、服部恵美子、羽田勝彦 羽原伸示、林和子、福島隆志、藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子 松本忠義、和谷篤樹	38人	
	会計監査	松岡郁子		1人
	常任顧問 (50音順)	梅田恒弘、後藤貞男、寺村安雄、仲村眞、村上博昭、吉村則次	6人	
顧問 (50音順)	(該当者なし)			
特別顧問 (50音順)	齊藤壽孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、和谷泰扶		5人	

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <https://kansai-harmonica.org/>

### 入会のご案内 組織部長

入会金：1000円（団体は1団体1律1000円）

年会費（1月から12月）：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員（30歳未満の方）1000円

団体会員（5名以上の団体で1名につき）1000円、贊助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、  
吹く方、吹かない方、上手な  
方、下手な方、上手になりた  
い方、ニュースだけほしい方  
等、どなたでも入会できます。



## CONTENTS

目次

# 関西ハーモニカ連盟会報 Harmony 第234号

(2023年10月号)

発行部数 400 毎年1、4、7、10月に発行（送付はそれぞれ前月中下旬）

お知らせ	2
事務局便り	角野まゆみ 3
いつもそばにハーモニカ	4
第2回研修会報告	中崎利枝子 8
第14回西日本ハーモニカコンテスト2023 実施報告 事業部長 梁木進	10
ハーモニカ県人会を組織することについて 関西ハーモニカ連盟常任顧問 吉村 則次	16
ハーモニカ カレンダー	17
教室音便り「尼崎ハーモニカエコース」	18
ヴェキアス（小林 希久子さん、岸元 彩さん）が F.I.H.JAPAN デュオ／トリオ部門で優勝	20
日本ハーモニカ芸術協会「長老栄誉賞」受賞して 中村逸男	21
日本ハーモニカ芸術協会「長老栄誉賞」を受賞して 保理江元子	22
師範認定を頂戴して 源馬英人	23
れんめい広場	24
昭和生まれ世代がハーモニカで幸せになる方法 北村サユリ	25
全日本ハーモニカ連盟「8月2日はハーモニカの日」プロジェクトの紹介（ご協力のお願い） 源馬英人	26
会員異動のお知らせ 組織部長 丸山茂生	28
編集後記	29

## お知らせ

### 1. 第33回関西ハーモニカ祭り開催およびプログラム送付について

事業部

10月7日（土）8日（日）は関西ハーモニカ祭りです。例年より1週間ほど早いためプログラムは本会報には同封せず、別途、個人会員様、団体代表者様、および出演予定者様に9月11日に発送致しました。地域によって、また団体会員様によっては、まだご覧にならない方がおられるかもしれません。

連盟のホームページ（<https://kansai-harmonica.org/>）において、プログラムおよび会場の詳細を案内していますのでご確認ください。

### 2. 「いつもそばにハーモニカ」完全版楽譜およびD調数字譜について

歌・エール！プロジェクト委員会

『ハーモニー』7月号（No.233）で発表した「いつもそばにハーモニカ」の楽譜に記号の記載漏れがありましたので、改めて完全版楽譜を本号4～5ページに掲載いたします。また、この歌はD調（二長調）ですので、D音（ハ長調のレ）を1とする数字譜も本号の6～7頁に掲載いたします。ご活用ください。

皆様がこの歌を末永く愛してくださることを、心より願っています。

### 3. 「スプリングコンサート2024」開催のお知らせおよびチケットの発売について

事業部

関西ハーモニカ連盟では隔年毎に「スプリングコンサート」を開催していますが、来る2024年3月30日（土）には、国指定重要文化財である中之島の大阪市中央公会堂において、目下大活躍中のハーモニカ演奏家を招いて「スプリングコンサート2024」を開催いたします。場所、時間、出演者、チケットの販売等についてチラシを配布するとともに、今後、詳細をホームページにも掲載いたしますので閲覧して下さい。チケットの申込みに留まらず、ひろくハーモニカ愛好家に知って頂くためチラシが必要であればご連絡ください。

### 4. その他

編集局

関西ハーモニカ連盟が主催する行事、後援するイベント、協賛する事業等、来年に向けての新しい情報については、適宜ホームページ上で御紹介いたしますのでご利用くださいますようお願い致します。

## 事務局便り

角野まゆみ

### 2023年第6回常任理事会報告

日時 2023年6月26日（月）17時より

場所 KOKO PLAZA 406号室

- 議事
1. 報告 理事長および各部局
  2. 議題
    - (1)西日本ハーモニカコンテストについて
    - (2)交流旅行について
    - (3)複音ハーモニカ児童奏者育成基金案の経過について
    - (4)活性化委員会の交流会について

### 2023年第7回常任理事会報告

日時 2023年7月24日（月）17時より

場所 KOKO PLAZA 406号室

- 議事
1. 報告 理事長および各部局
  2. 議題
    - (1)「8月2日はハーモニカの日」キャンペーン・ステッカーの頒布について
    - (2)スプリングコンサートについて
    - (3)交流旅行について
    - (4)県人会組織について

### 2023年第8回常任理事会報告

日時 2023年8月28日（月）17時より

場所 KOKO PLAZA 405号室

- 議事
1. 報告 理事長および各部局
  2. 議題
    - (1)「8月2日はハーモニカの日」キャンペーン・ステッカーの頒布について
    - (2)交流旅行について
    - (3)スプリングコンサートについて
    - (4)ハモ祭りについて
    - (5)複音ハーモニカ児童奏者育成基金（内規）について
    - (6)会費について

いつもそばにハモニカ

作詞 源馬恵子  
作曲 あらいなおこ

*animato*

いつもそばにハモニカ  
さーま-キラ  
ことりはうた  
だれかとも  
rit. 3-3 3  
ハモニカを  
ハモニカを  
めもれとしと  
かあんて  
はれやか  
rit. 3-3 3  
ハモニカを  
ハモニカを

きょうはあおき  
うー<sup>おひ</sup>  
はなはえかがお  
はーれきぶん  
ぞうた  
ぞうた  
ハモニカを  
ふこうじょないか  
そばにはいっても  
ハモニカ  
ぞうはどんぶりーあ  
むこうのやまと  
しーいきもち  
ぞうた  
ぞうだ  
ハモニカを  
3.こうじょないか  
そばにはいっても  
ハモニカ

A handwritten musical score consisting of ten staves of music. The music is written in common time (indicated by a '6' over the staff) and uses a treble clef. The score includes Japanese lyrics and various performance markings such as 'rit.', 'tempo', and dynamic markings like '200'. The lyrics describe a scene of a person looking at a woman in a garden, with phrases like 'おもいはなれ' (thinking about her), 'おもいだ' (thinking), 'ふこうじやないか' (isn't it like a dream?), and 'そばにはいつでも' (always nearby). The score ends with a large, stylized signature in the bottom right corner.

Key D 使用ハーモニカ D C# いつもそばにハーモニカ 作詞 源馬恵子  
animato 作曲 あらいなおこ

$\frac{6}{8}$ <b>D</b> <u>i72i76543453</u>	<u>432567</u> <u>110</u>	<u>321</u> <u>712</u> きょうは あおぞ	<u>1.</u> <u>1011</u> う --- おひ
$6$ <u>4456</u> さ - ま - キラ	<u>5.</u> <u>500</u> う ---	<u>2</u> <u>b2b2</u> <u>3b3b3</u> はなはえかお	<u>4.</u> <u>400</u> で ---
<u>333334</u> こヒリはうた	<u>5.</u> <u>5011</u> う --- はれ	<u>6</u> <u>6646</u> ば - れきぶん	<u>i.</u> <u>i00</u> を ---
<u>5</u> <u>b5b5</u> <u>334</u> だれかとともに	<u>5.</u> <u>500</u> う ---	<u>4</u> <u>6440</u> そうだ	<u>5</u> <u>330</u> そうだ
$2 - 22$ rit. ハ - モニ	<u>5</u> <u>- - 0</u> カ - -	$\frac{6}{8}$ a tempo <u>3</u> <u>3335</u> ハ - モニカを	<u>454543</u> <u>200</u> ふこうじやないか
$4$ <u>4446</u> ハ - モニカを	<u>565654</u> <u>300</u> ふこうじやないか	<u>6444</u> <u>5333</u> そばにはいつでも	<u>5</u> <u>67</u> <u>100</u> ハ - モニカ
<u>i72i76543453</u>	<u>4321</u> <u>b7b6</u> <u>5b65</u>	<u>b321</u> <u>712</u> そらは どんよ	<u>1.</u> <u>101</u> り --- あ
$6$ <u>4434</u> め - も しヒレ	<u>3.</u> <u>300</u> と ---	<u>2</u> <u>b2b2</u> <u>3b3b3</u> むこうのやまと	<u>4.</u> <u>400</u> も ---
$3$ <u>334</u> か - すん - で	<u>5.</u> <u>5011</u> る --- さみ	<u>6</u> <u>6646</u> し - いきもち	<u>i.</u> <u>i00</u> を ---
$5$ <u>534</u> は - れ や - か	<u>5.</u> <u>500</u> う ---	<u>4</u> <u>6440</u> そうだ	<u>5</u> <u>330</u> そうだ
$2 - 22$ rit. ハ - モニ	<u>5</u> <u>- - 0</u> カ - -	$\frac{6}{8}$ a tempo <u>3</u> <u>3335</u> ハ - モニカを	<u>454543</u> <u>200</u> ふこうじやないか
$4$ <u>4446</u> ハ - モニカを	<u>565654</u> <u>300</u> ふこうじやないか	<u>6444</u> <u>5333</u> そばにはいつでも	<u>5</u> <u>67</u> <u>100</u> ハ - モニカ

$\frac{6}{8}$ <u>i72176 543453</u>	<u>432567</u> <u><math>\overset{x}{\cancel{1}}</math> <math>\overset{x}{\cancel{1}}</math> 0</u>	<u>3 2 1 7 1 2</u> とおくはなれ	<u>1.</u> <u>100</u> た---
$6 \quad \frac{4}{3} \frac{456}{さ - と}$	$5.$ <u>503</u> の---み	<u>2 b2</u> <u>b2 3 b3 b3</u> どりやせせら	$4.$ <u>400</u> き---
$3 \quad \frac{3}{お} \frac{3}{も} \frac{3}{い} \frac{4}{だ}$	$5.$ <u>500</u> す---	<u>6 6 6 6 4 6</u> むねにあふれ	$1.$ <u>100</u> る---
<u>5 b5 b5 3 4</u> のおも	$5.$ <u>500</u> い---	<u>4 6 4 4 0</u> そうだ	<u>5 3 3 0</u> そうだ
rit. $2 - 2 2$ ハ - モニ	$5$ <u>- - 0</u> カ - -	$\frac{6}{8}$ <u>a tempo</u> <u>3 3 3 5</u> ハ - モニカを	<u>454543</u> <u>200</u> ふこうじょないか
$4 \quad \frac{4}{ハ} \frac{4}{モ} \frac{4}{ニ} \frac{6}{カ} \frac{を}{}$	<u>565654</u> <u>300</u> ふこうじょないか	<u>6 4 4 4 5 3 3 3</u> そばにはいつでも	<u>5 \frac{6}{ハ} 7</u> <u>100</u> ハ - モニカ
$3 \quad \frac{3}{ハ} \frac{3}{モ} \frac{3}{ニ} \frac{5}{カ} \frac{を}{}$	<u>454543</u> <u>200</u> ふこうじょないか	$4 \quad \frac{4}{ハ} \frac{4}{モ} \frac{4}{ニ} \frac{6}{カ} \frac{を}{}$	<u>565654</u> <u>300</u> ふこうじょないか
$3 \quad \frac{3}{ハ} \frac{3}{モ} \frac{3}{ニ} \frac{5}{カ} \frac{を}{}$	<u>454543</u> <u>200</u> ふこうじょないか	$4 \quad \frac{4}{ハ} \frac{4}{モ} \frac{4}{ニ} \frac{6}{カ} \frac{を}{}$	<u>565654</u> <u>300</u> ふこうじょないか
<u>6 4 4 4 5 3 3 3</u> そばにはいつでも	<u>5 \frac{6}{ハ} 7</u> <u>100</u> ハ - モニカ	<u>6 4 4 4 5 3 3 4</u> そばにはいつでも	<u>5 \frac{6}{ハ} 7</u> <u>100</u> rit. ハ - モニカ
a tempo <u>i72176 543453</u>	<u>45 b6 b6 b7 b7</u> <u><math>\overset{x}{\cancel{1}}</math> <math>\overset{x}{\cancel{1}}</math> 0</u>		

※  $\boxed{D}$ をお持ちでない方は  $\boxed{C^{\#}} \boxed{C}$  で代用して下さい。  
この場合 Keyは原曲より半音低い  $\boxed{C^{\#}}$  になります。

## 第2回研修会報告

中崎利枝子



2023年7月30日、関西ハーモニカ連盟主催の今年度第2回研修会が大阪の愛日会館で開催されました。今回の講師は寺澤ひろみ先生です。寺澤ひろみ先生のお父様が佐藤秀廊先生に師事されました。お父様は画家でもあった佐藤先生の教え“ハーモニカで絵を描く”演奏を特に心がけておられたそうです。寺澤ひろみ先生からハーモニカで絵を描く方法について講義いただきました。

### 講義内容

#### 1. 自分らしい演奏とは、自分らしいとはどういうことでしょうか

- ①歌舞伎役者、第18世中村勘三郎の言葉を例にとりわかりやすく説明されました。型破りであるには、まず型をきっちりと学ぶ必要があります。型を学ばなければそれはただの型なしです。私達にとって型は譜面であり、譜面通りに演奏することが型通りであります。
- ②音価・音程・奏法・技術は変えてはいけない。
- ③強弱・テンポは相対的にあっていれば、変えてよい。

- \* 変えてもいい部分に自分らしさが出ます。
- \* 好き勝手や力不足のために変えてはいけない。
- \* 全ての技術を思通りにできるようになり、やっと自分らしさを出すことができます。
- \* 楽譜に書かれているキーワードやヒントをもとに、そこに込められた作曲家や編曲者の意図を読み込んだうえで、風景・景色・ストーリーをつくります。



## 2. 演奏前に準備すること

- ①原曲をできるだけ数種類バージョンを、超一流のソロやオーケストラの演奏で聞き込み吟味します。好みのものを見つけて選びます。ハーモニカ演奏の真似はしない。
- ②曲を前奏、主題部、変奏部、カデンツア、後奏などにブロック分けします。ブロック毎に風景、景色、ストーリーを作り込みます。季節、場所、時間帯、人数と性別、目線等も加味します。

## 3. 事例一 「さくらのワルツ（琴唄を主題とした変奏曲）」

- ①題名から、唄、琴、ワルツ等がヒントとなります。歌詞を調べます。琴唄の雰囲気が出ている箇所を見つけます。トリル、カデンツア部分です。佐藤先生のコメントを熟読して読み解きます。
- ②ブロック毎に分けて、それぞれの風景を描きます。前奏、主題、第一変奏、第二変奏、第三変奏、終曲のそれぞれの風景です。更に、季節はいつ頃、桜木の本数は、場所はどこ、咲いている時間帯は、見ている人は、人数は何人ほど、見物人の目線はどこにあるのかを考えます。
- ③追加する項目は、例えば、桜花が散る風景の時にはどんな風が吹くか、それを表現するには、どのような息

を使うかを考えます。普段からどんな風景があり、そこにどんな感情があるのかという目線と感覚をもって、日常を過ごすことが大切です。

“ボーッと生きてんじゃねーよ！！！ by チコちゃん。”（寺澤先生のレジメより）

④どういう感情を表すにはどんな息を使うか考えます。浮かんでくる情景を息に乗せます。気持ちを表現することが演奏する意味です。

## 4. 思うように演奏するためには

- ①愚直に真面目にできるまでやります。
- ②常日頃のことの視点をハーモニカに取り込みます。
- ③ミストーンを出さない。
- ④足りないものを補う練習をします。

## 5. 質問事項

質問：息が続かない時は、途中で吸ってもいいですか？

回答：演奏速度の遅さが原因と考えられるので、速く吹く練習をして下さい。

最後は待ちに待った「さくらのワルツ」の美しい演奏を聴かせていただきました。



# 第14回西日本ハーモニカコンテスト2023 実施報告

事業部長 梁木進

関西ハーモニカ連盟主催の第14回西日本ハーモニカコンテストは、予選審査の後、決勝ライブを予定通り実施し、成功裡に終えることが出来ました。各部門の成績とともに下記の通り報告いたします。

決勝ライブ開催日： 2023年7月16日（日）

実施会場： 大阪府堺市 サンスクエア堺

審査員の先生方（敬称略）：徳永延生、和谷泰扶、吹上晴彦、十河陽一、小林由美子、水野隆元

## 第14回西日本ハーモニカコンテスト 結果

順位	氏名 / グループ名（府県）	演奏曲
----	----------------	-----

### 第1カテゴリ ジュニア・ソロ部門

1位	梁本結葉（兵庫県）	アルルの女より メヌエット
----	-----------	---------------

### 第3カテゴリ クロマチック・ソロ（クラシック）部門

1位	三浦正順（神奈川県）	Serenade and Dance
2位	服部恵美子（大阪府）	ブエノスアイレスの冬
3位	熊谷みら（神奈川県）	オペラ「魔笛」より夜の女王のアリア

### 第4カテゴリ クロマチックハーモニカ・ソロ（ジャズ・ポピュラー）部門

1位	三浦正順（神奈川県）	Tango Pour Claude
2位	松田恵子（兵庫県）	スペイン
3位	小林正人（静岡県）	上を向いて歩こう

### 第5カテゴリ 複音ハーモニカ・ソロ部門

1位	柳石幸子（神奈川県）	荒城の月変奏曲
2位	筒井茂義（奈良県）	さくらのワルツ
3位	松本孝司（兵庫県）	青葉の笛幻想曲

## 第6カテゴリ デュエット部門

<b>1位</b>	SHURA (福岡県)	青春の日々
<b>2位</b>	Tanon 倶楽部 (福岡県)	君の瞳に恋してる
<b>3位</b>	ラッパーズ (大阪府)	Joyful Joyful

## 第7カテゴリ 小アンサンブル部門

<b>1位</b>	KAFUKA (神奈川県)	天使の死
<b>2位</b>	Trefiore (兵庫県)	Libertango
<b>3位</b>	ハーモニカアンサンブル奏楽 (徳島県)	天城越え

## 第8カテゴリ 大アンサンブル部門

<b>1位</b>	八連符+ (神奈川県)	アメリカン・パトロール
<b>2位</b>	チーム♪レディクロ (兵庫県)	黒いオルフェ (カーニバルの朝)
<b>3位</b>	ハーモニカンズ・アバンドーネ (京都府)	コーヒールンバ

## 第9カテゴリ フリーソロ部門

<b>1位</b>	小林正人 (静岡県)	悲しい色やね
<b>2位</b>	深沢充代 (福岡県)	Summertime (サマータイム)

## グランプリと特別賞

<b>グランプリ</b>	三浦正順 (神奈川県)	第3、4、7の各カテゴリ 3部門で第1位
<b>特 別 賞</b>	ハーモニカコンテスト (神奈川県)	各部門の中で最高点



受賞者の皆さん

## 優勝者のことば

### ジュニア・ソロ部門

#### 梁本 結葉

##### ありがとうの気持ち

私が初めてハーモニカを触ったのは、単なる遊び心からです。

Cのハーモニカを握り、かえるのうた、かっこうなど知っている曲を感覚で吹いていく。それが始まりです。ピアノなどとは違い、自分に合った楽器な気がする。そう感じていました。ちょっと本格的にしてみたいかも。そう思っていた時に、習ってみないかと勧められ通い始めました。今回のコンテストは、いろいろぎりぎりで、コンテストに送る録音でつまずきまくって、届いたのが締め切りの前日だったり、練習不足すぎて、前日に詰め込んだりと、今思うとそうとう挑戦していたと思います。コンテスト本番でも「そこ間違うの！？」とつまずいてしまい、少し悔しさは残りましたが、演奏だけでなく、コンテストそのものを全力で楽しめました！先生方や受付や舞台裏の方々など関わってくださった全ての方々。本当にすばらしい、いい経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。そして私の師匠、小林先生！いつもありがとうございます。いつも授業楽しいです！これからもよろしくお願いします！



クロマチック・ソロ・クラシック部門＆ジャズ・ポピュラーデ部分、  
小アンサンブル部門ならびにグランプリ受賞

#### 三浦 正順

この度は第14回西日本ハーモニカコンテストにおきまして、クロマチック・ソロ（クラシック）部門、同（ジャズ・ポピュラー）部門、小アンサンブル部門（「KAFUKA」）の3部門にて1位という順位をいただき、さらにはグランプリまでいただきましたこと、受賞の時は本当に信じられないといった気持ちでしたが、大変光栄に存じます。5年前、山下伶先生のコンサートを拝聴し、はじめてクロマチックハーモニカを知りました。その時にうけた感動とすぐにでも楽器を始めたいと思った衝動は今でもよく覚えております。楽器を手にしてからは、基本的なメソッドも一音一音を楽しみながらひたすら繰り返していましたが、今でも出す音ひとつひとつに感動を以て演奏することを心がけています。楽器を手にして最初に目標にしていたことは、クロマチックハーモニカの魅力を伝える人になりたいということでしたが、今回の受賞はその一步であるとの気持ちで今後も励んでまいります。

ここまでご指導いただきました徳永延生先生、和谷泰扶先生、山下伶先生、そしてKAFUKAのメンバーをはじめ、これまで出会ったハーモニカおよび音楽仲間の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（写真はKAFUKA演奏風景：左から望岡季世彦さん、三浦正順さん、山崎妙子さん）





## 複音ハーモニカ・ソロ部門

### 柳石 幸子

#### 大阪の兄姉に嬉しい報告

関東からも応募できると聞いて、大阪に生まれ育った私は「これはいいチャンス！」と、俄然、今回のコンテストに挑戦する気になりました。

複音ソロで挑んだのは岩崎重昭先生編曲の「荒城の月変奏曲」。佐藤秀廊先生の荒城の月を多くの人は演奏されますが、岩崎先生の方はあまり聞く機会もありません。この曲に挑戦しようと思ったきっかけは、昨年12月20日、神奈川県海老名市文化会館で開催された「アジア大会入賞者コンサート」で大阪の梁木さんの演奏を聴いたことでした。佐藤編曲とは一味違う和音の響きが新鮮で、これは誰の編曲なのだろう、私も吹いてみたいと思ったのでした。聞けば岩崎先生の編曲譜に所々ドミナントハーモニカも使ったとのこと。

たまたま4月に富山で演奏する機会があり、佐藤編曲で演奏するつもりでした。しかし年が明けて、急遽、ドミナントハーモニカ入手、これを使って演奏したいと考えたのです。

何といっても主和音へと向かうドミナントの響きや流れが自然で美しい。岩崎編曲の素晴らしさもあって、演奏していてとても気持ちがいいのです。思いもよらない1位入賞。大阪にいる兄姉にいい報告ができたことが何より嬉しいことでした。



## デュエット部門

### SHURA 山崎 朱音

この度は栄誉あるデュエット部門優勝を頂戴し、誠に光栄に存じます。デュエット部門優勝は私達がデュオを組んだときからの目標であり、日々の練習に尽力してきましたので、心より嬉しく思います。

デュオを組んでいる私達ですが、普段は東京と福岡でそれぞれ暮らしているため、なかなか合わせ練習をすることが出来ませんでした。そのため、お互いに録音を送り合ったり、どのように曲を合わせていくか細かく連絡を取り合ったりして練習を進めました。工夫を重ねながら進めた練習が実を結び、とても嬉しく思います。

コンテストが終わり今思うことは、この栄誉は決して私達だけの成果ではないということです。これまで私達を指導して下さった先生、支えて下さった家族やハーモニカ仲間の皆様のお陰であると実感しています。今後多くの人達との繋がりを大切にし、精進していきたいと思います。数年前から私達は「SHURA」としてデュオを組んでおりますが、これからも2人でより良い音楽を作りつつ、他の仲間ともチームなどを組み1つの音楽を作ることで、音楽の輪を広げていけたらなと思います。



山崎朱音さん(左)と  
熊谷みらさん



## 大アンサンブル部門&特別賞受賞

### 八連符+ 山形 智美

結成は2001年。昨年メンバーの一部が入れ替わり八連符+として再スタートを切りました。クロマチック2本、複音、バリトン、アルトホルン、バス、コードの全7パートでの演奏です。「アメリカンパトロール」は十年前の編曲。仕上がりに自信がなく甲賀一宏先生に助言と励ましをいただいた大事な一曲です。いまもメンバー構成と個性に応じて手直しを加えます。アンサンブルでは縦の線を揃えることが大切です。指揮者のいない私たちは、私の息づかいと動きに合わせます。また、どんなに素晴らしい演奏でもピッチが合っていないと台無し、日頃から調律・調整には気を使います。

控室では緊張と不安に襲われましたが、いざステージで一音出すと、これまで経験したことのない響きに心が躍りました。心地よい響きを楽しみながら演奏できたように思います。終えた瞬間に、「ウオー」という声があがったときは心震えました。兵庫出身の私は関西で演奏するのが夢でした。夢が叶った上に1位と特別賞までいただけて最高です。さらに精進して、また皆様の前で演奏できる日が来ることを心から楽しみにしています。



## フリー・ソロ部門

### 小林 正人

今年の1月、「演懐コンクール」で「悲しい色やね」を演奏してから、この曲の歌詞に「大阪ベイブルース」もあるので、是非とも関西のコンクールに参加したいと思いました。1月には、最初歌を少し歌い、10ホールズのCとA、クロマチックハーモニカを2本使って自身のアレンジで演奏しました。歌が難しかったので、今回は、タンバリンとハーモニカのメジャーとマイナーを合体させたハモリングでビリージョエルのストレンジャー等を演奏し、その後、録音しておいた歌詞の朗読をバックに、ペンダント式ミニハーモニカを演奏することにしました。演奏の途中には、少しだけ動作をつけながら、別れのせつない気持ちを表そうと試みました。「ソロ・フリーの部門」なので、いろいろな工夫を試み、ハーモニカの可能性と表現を自分なりに表したつもりです。演奏が終わった後は、関西の方の温かい声掛けにとても嬉しくなりました。また、様々な演奏を聴かせていただき、関西ハーモニカ界のレベルの高さを感じました。また、精進をして、いつかグランプリを取りたいという目標ができました。関係者の皆様、大変お世話になり、まことにありがとうございました。



## コンテスト風景



Tanon 倶楽部



ラッパーズ



こいさんず



アヨリズム



Trefiore



チーム♪レディクロ



ハーモニカアンサンブル奏楽



ハーモニカنس・アバンドーネ

## ハーモニカ県人会を組織することについて

関西ハーモニカ連盟常任顧問 吉村 則次

私は、常に、ハーモニカ全体の普及発展、当連盟の拡大発展とハーモニカ愛好者相互の親睦を深めたいと思っています。

それで私は、この目的をさらに達成するため、当連盟会員による県人会を組織し、相互に結束を深めるとともに、他のハーモニカ団体の会員と地域を超えた親睦も行うことにより、ハーモニカ全体のさらなる普及発展を期することを連盟に提案しました。

6月及び7月の常任理事会で討議され、おおかたの賛同を得たとのことです。

学校の同窓会や会社のOB会のように、同じ「ふるさと」を持つかたは相互に親しみを感じ、自慢話をしたり、その地のプロ野球の応援をしたりします。

会員相互の結束を固め、親睦を関西ハーモニカ連盟の中だけにとどまらず、広く国内各地の愛好者とも繋がりを持つために、連盟の中に地域別の県人会を設け、それが窓口となって各地の愛好者とコントラクトを持って、活動をできればと思っています。

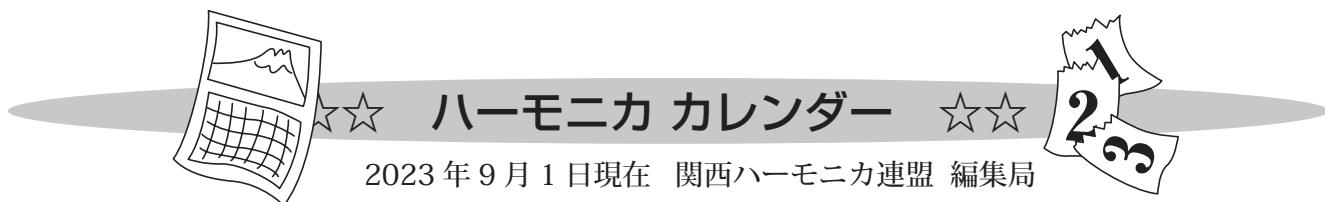
詳細については、別途連盟の所管部門から会報上で案内があると思いますが、多くのかたが参加して、県人会を組織されることを願っております。

一般的には、県人会は、その都道府県の出身者であって、現在は他の地域に住んでいるかたで結成するのが普通ですが、これに限定せず、その地に勤務したことがある、その地の学校に行った、子息孫等がその地に住んでいる、等の要因で、その地が好きな方等も含めればと思っています。

当初は、都道府県単位では人が集まらないと判断されるので、最初は、九州県人会、中国地方県人会、四国県人会、北陸県人会というように、県単位ではなく、地域を単位として始めることも考えられます。私が考えている具体的活動は次のとおりです。

- ① 当連盟内の県人会を組織し、会員相互の親睦を図る。懇親会、発表会等を開催する。
- ② 該当の地域の団体と連絡をとり、交流する。その地に交流旅行を行う。その地のハーモニカの行事に参加させてもらう。

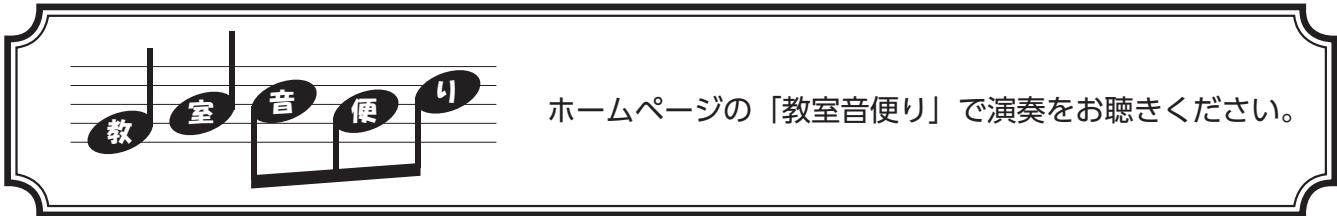
当連盟の中に県人会を発足させたあとは、他の地域の団体の中に、関西出身者による県人会を組織することを薦め、それができた場合は、それと交流し、当連盟のハーモニカ祭りには地方枠を設け、会員でなくとも、通常の参加費で出演してもらうようなことも考えていただければと思います。(2023年8月6日記)



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆  
2023年9月1日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局

日 時	主催者・演奏会の名称	会場・費用・お問い合わせ先
9月 10日(日) 14:00～16:30	関西ハーモニカ連盟主催 第3回連盟研修会(水野隆元)	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】西本豪介 06-6785-7775
9月 10日(日) 13:00～17:00	木原教室主催 第20回ハーモニカの集い	宇治市 ふりーすぺーす宇治日和 入場無料 【問】木原淳 0774-23-6631
9月 11日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
10月 7日・8日 (土・日) 両日	関西ハーモニカ連盟主催 第33回関西ハーモニカ祭り	奈良市 なら100年会館 (中ホール) 入場無料 【問】鐘ヶ江義行 077-594-1374
10月23日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
10月28日(土) 12:00～16:00	尼崎ハーモニカエコース主催 第38回たのしいハーモニカコンサート (創立40周年記念コンサート)	尼崎市 尼崎市大庄北生涯学習プラザ 無料 【問】松本孝司 080-3827-0981
10月28日(土)	丸山茂生主催(関西ハーモニカ連盟後援) Shigeo Maruyama ハーモニカコンサート	川西市みつなかホール文化サロン、無料、 要入場券 【問】丸山茂生 090-9272-5591
11月 12日(日)	NHK神戸マリンハーモニー主催 (連盟後援) 第20回たのしいハーモニカ発表会	神戸市 神戸中華会館東亜ホール 無料 【問】吉村望 090-4196-5015 / 078-752-9113
11月 27日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
12月 25日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
<b>2024年</b>		
1月 13日(土) 13:30～16:00	日芸協関西支部連合会主催 田邊峯光会長による研修会	大阪市東淀川区 市立青少年センターココ プラザ 101号室 有料 【問】村上博昭 Tel/Fax 0743-79-9559
1月 14日(日) 13:30～16:00	H企画主催(連盟後援) 第8回ハーモニカハデコンコンサート	大阪市東淀川区 市立青少年センターココ プラザ 200号ホール 【問】梁木進 090-8655-6045
1月 22日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
2月 3日(土)	徳永延生教室主催 徳永教室発表会	大阪市北区 ライブハウス E.S.Arrow 梅田 【問】徳永延生 090-3723-0705
2月 11日(日)	関西ハーモニカ連盟主催 2024年度『定時総会』	主催者ホームページを参照ください
2月 25日(日)	全日本ハーモニカ連盟主催(連盟後援) 第3回全日本ハーモニカ演懐コンクール	高松市 香川県県民ホール(レクザムホー ル) 主催者ホームページを参照ください
3月 25日(月)	常任理事会	大阪市立青少年センターココプラザ
3月 30日(土)	関西ハーモニカ連盟主催 スプリングコンサート2024	大阪市北区 大阪市中央公会堂 有料 【問】梁木進 090-8655-6045

(敬称略)



ホームページの「教室音便り」で演奏をお聴きください。



## 尼崎ハーモニカエコース

練習場所	大庄北生涯学習プラザ
練習日	(第2土曜 13:00 ~ 16:00) 大庄南生涯学習プラザ (第4土曜 13:00 ~ 16:00)
指導者	合奏：村上浩一先生 ソロ：西田幸司先生
代表者	松本孝司
会員数	24名

野に咲く花のように ▶

丘を越えて ▶

### \*教室の生い立ち

尼崎ハーモニカエコースは昭和58年2月に、発起人板村忠重氏、西田幸司氏、岡村貞彦氏により設立、本年で創立40周年になる伝統ある教室です。練習場所は発足当時から大庄公民館を使用して練習をしていましたが、新らたに尼崎市大庄北生涯学習プラザと令和3年に改裝工事をした大庄南生涯学習プラザ(旧大庄公民館)で継続して練習を行っております。

合奏指導者の村上先生は本年白寿を迎えられます。ソロ指導者の西田先生は昨年卒寿を迎え

られました。練習は村上先生が合奏曲用に編曲された楽譜を使用します。編曲された曲は演歌を中心に既に1,500曲以上に達しております。

ソロ個人指導の練習は、各自の希望する曲をレベルに応じた方法で西田先生が1日5~6名を指導されます。

平成28年9月には「尼崎ハーモニカエコース 32年のあゆみ」を発行して、教室の歴史を残しました。関西ハーモニカ連盟事務所にも1冊寄贈しましたので参考にして下さい。



合奏指導の風景



ソロ個人指導の風景 .psd



西田幸司先生の演奏風景



村上浩一先生の演奏風景

#### \*コロナによる教室休会対策として

令和2年~3年にかけてコロナ発生で教室が長期閉鎖されたときには、練習とモチベーションアップのために令和3年度の練習曲22曲の模範演奏と指導を村上先生に録音して頂き、教室の副会長がCDに約30枚コピーして教室のメンバーに配りました。各自でこのCDを聞きながら練習して、ハーモニカの練習を途切れさせないように工夫をしました。現在も教室では長机に1人として、間隔をあけて練習しております。

(連盟会報 Harmony No.225 2021.7月号に寄稿「教室休会中の練習プロモートについての一方法」をご参照下さい。)

#### \*演奏活動

全員での合奏演奏の他にカルテットのチームも誕生して演奏活動をしております。今後当教

室にもカルテットやクインテットのグループが誕生して演奏活動が出来ることを期待しております。教室の練習のみではなく上達するためには、発表会やボランティア活動に積極的に参加して、目標が出来れば練習の励みにもなります。

演奏活動は、①日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会の定期演奏会、②関西ハーモニカ祭り、③当教室の楽しいハーモニカコンサート、年末の吹きまくり会、④地域の大庄祭り演奏会、

⑤その他ボランティア演奏（大阪の曾根崎警察コミュニティープラザ、デイサービス施設等）を行っております。

早くコロナ対策の必要がなくなり、外部での演奏活動ができる事を祈っております。メンバーの平均年齢が後期高齢者に近づいてきました。皆さんハーモニカ演奏を愛して楽しく練習に励んでいます。

(寄稿：雑賀健)



尼崎ハーモニカエコースカルテットの演奏



尼崎ハーモニカエコースの演奏

## ヴェキアス（小林 希久子さん、岸元 彩さん）が F.I.H.JAPAN デュオ／トリオ部門で優勝

2023年6月3日に開催された「F.I.H. ハーモニカ・コンテスト2023」において、当連盟会員の小林希久子さん、岸元彩さん結成のヴェキアスが“アイノカタチ GReeeeN”を演奏し見事第一位となりました。当日は公共交通機関の混乱の大変な中での見事な活躍です。（編集局）



### 優勝の言葉

ヴェキアス（小林 希久子・岸元 彩）

この度は F.I.H ハーモニカコンテストのデュオ / トリオ部門第1位を頂き、大変嬉しく思っております。

当日は台風の影響で新幹線が名古屋で止まってしまい、間に合うか間に合わないかの瀬戸際でした。改札口付近、ホームは鮓詰め状態。いつ新幹線に乗れるかわからない焦りと不安で心が折れかけていました。

スタッフの方とも連絡をとりながら順番も最後にして頂き、とにかく猛ダッシュで会場に向かい、なんとか辿り着いたのが審査リミットの5分前でした。

スタッフの方々や一緒に走ってくれた家族、先生方の協力があって出演することができたので、本番中は演奏できる喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。私達にとって意味のある忘れられないコンテストになりました。

幼い頃から仲良しで練習も楽しく、信頼できるパートナーと出会い私達はお互い幸せです。これからも色んなジャンルの曲に挑戦し、私達らしい演奏を求めて頑張っていきます。

# 日本ハーモニカ芸術協会「長老栄誉賞」受賞して

中村逸男

この度は思いもかけない賞を頂き、誠にありがとうございます。

あっという間の20年間でした。定年直前に先輩のお誘いがあり、ハーモニカ同好会の研修発表会を見学させて頂き、ハーモニカの音色とメンバーの方々のひたむきな演奏に感動しました。早速入会の手続きをして、「定年後の私のハーモニカ人生？」がスタートしました。

いきなり同好会の一員として、また小アンサンブルの「くらわんかカルテット」(2022年解散)にもメンバーに組みいれられ、コードハーモニカ担当としてスタートしました。

以来、関西ハーモニカ連盟のコンサートには毎回出演し、大舞台での出場を通じて演奏力の向上に大いに役立っています。関西ハーモニカ連盟や日本ハーモニカ芸術協会の役員の方々の開催努力に改めて感謝申し上げます。また枚方ハーモニカ同好会は、今年30回目の「研修発表会」を開催し、毎年80名前後のお客さんに来場頂いています。

## これまでのハーモニカ演奏会を振り返って

枚方ハーモニカ同好会は30名を越えた時代から今は11名の小所帯になっていますが「ハモ祭り」へは継続して出場することを目標に練習に励んでいます。また、小アンサンブルもいくつか結成されました、「くらわんかカルテット」(解散までは毎年30回前後の演奏会)「エーデルソワーヴェ」(女性5人・男性1人)がボランティア演奏もがんばってきました。

記憶に残る演奏会としては、韓国留学生とのコラボ出演・全国ハーモニカサミットでは1400名の観客動員等々。この20年間は息つく暇もないくらいの活況でした。

## ハーモニカを通じて

定年後何をするか??大きなテーマでしたが、ハーモニカとの出会いを通じて

- ①多くの人たち（ハーモニカ仲間）との出会い・交流（交流コンサートの実施等）
- ②地域社会との交流（自治会の敬老会演奏会・市や団体の記念行事等）
- ③老齢者福祉の一助（同一デイサービス30回もの訪問演奏会の実施等）

## これから

こんな素晴らしい充実した定年後の生活が待っているとは、全く想像もしていませんでした。今回の「長老栄誉賞」、さきの「くらわんかカルテット」一員としての「日本ハーモニカ賞」と名誉ある賞を頂き望外の喜びです。ご指導いただいた村上博昭先生や皆様方に心から感謝申し上げます。



90歳いや100歳を目指して演奏力向上に努めます(左前方二人目筆者)

## 日本ハーモニカ芸術協会「長老栄誉賞」を受賞して

保理江元子

この度は「長老栄誉賞」という身に余る大変な賞を頂き感謝しております。

ここに至るまで多くの先生方、連盟の方々のお世話になりました事を心からお礼を申し上げます。過去に東京での授賞式を拝見しました時、「80歳になる迄ハーモニカを続けられるなんて凄いなあ～」と感心しておりましたのに、いつの間にか私も80歳になっていたのですね。ついこの間迄他人事の様に思っておりました。

私がハーモニカに興味を持ったのは、幼い頃、母の和ダンスの引き出しに仕掛けられたハーモニカ（？）の音だったと思います。閉める度に「ファーン」といい音がするので楽しく且つ面白く、何回も開閉している内に鳴らなくなってしまい、つまり壊してしまったのが始まりでした。それから数年後ハーモニカ好きの友人と出会った事や、中学生の時、変声期の頃は喉を痛めてはいけないという教育方針から歌いたくない人はハーモニカでその曲を吹いても良かったので、私は声は出たのですがハーモニカを吹いた気がします。

それから数十年後 宇治市にハーモニカスクールがある事を知り入会させて頂きました。知っている曲は楽譜無しで吹けてはいましたが、ドレミ…………の配列は知りませんでした。

当時軟式テニスクラブにも所属しており、テニスを優先していましたが、ハーモニカに入会して半年経った頃、福知山市での京都市町村テニス対抗戦でアキレス腱を切り入院、それからテニスはやめました。

宇治市の教室で合奏の楽しさを知り、十字屋の小林忠夫先生を紹介して頂いたり、第1回西日本コンテスト（於宇治市）や第1回アジア太平洋ハーモニカ大会（於台湾・台北）に出場したり、中国陝西省咸陽市や四川省峨眉山に迄同行させて頂いたりました。

小林忠夫先生亡き後由美子先生にかわり、静岡県での国民文化祭には小林教室のメンバーに入れて頂きその時はバスハーモニカで同行させて頂きました。その時ソロは吹上先生にお世話になっておりました。その後ハモニ館が誕生し、早速入れて頂き曲によっては複音ハーモニカ、コードハーモニカ、ソプラノホルンハーモニカといろいろ経験させて頂きました。

十字屋教室に入会した時、他の方は教本を終えておられ、私は追いつくために関西連盟研修会や振興会の宿泊研修に浜松迄行ったり、白鳥先生による聴音テストに参加したことは貴重な思い出です。その他、門下生でもなく、サークルに属してもいませんが、岩崎重昭先生、斎藤寿孝先生、仲村眞先生、大矢博文先生、宇佐美進先生、西田幸司先生、村上浩一先生、徳永延生先生、新井善久先生、村上博昭先生、大石喜一郎先生、梅田恒弘先生など、多くの先生方にお世話になりました。おかげで今日迄ハーモニカを続けてこられ、お友達も沢山出来、本当に幸せな一生だったと存じております。本当にありがとうございました。



## 師範認定を頂戴して

源馬英人

本年4月24日、東京で開催された日本ハーモニカ芸術協会総会において、田邊峯光会長から師範の認定証書を頂戴しました。身に余る光栄に感激しています。

広辞苑で「師範」という語は、「学問・技芸を教授する人」と定義されています。これに従えば、ハーモニカの師範とは、「ハーモニカという楽器の特性を深く理解し、それを十分に活かす独自の音楽世界を創り出すとともに、その技を人に教え伝える人間」ということになるでしょうか。もはや他の誰かを当てにするではなく、自分自身が指導者として、確たる矜持と責任をもって人を導かなければならぬ、ということです。こう考えると、改めて、準師範時代の自分がどれほど脳天気な甘ちゃんだったかを痛切に思い知らされました。自分の中にまだまだ多く残っている未熟さを実感しながら、しかし同時に、一人の指導者として広大な原野に一步ずつ歩を進めていかなければならないのです。この状況におかれ自分の状況を想い描くと、「僕の前に道はない／僕の後ろに道は出来る」という高村光太郎の詩『道程』の一節が想い出されました。

師範に認定され、私が最初に持った覚悟は、「自分の音と音楽性に責任を持つ」ということです。私はこの時、ショパンの『別れの曲』を練習中でしたが、曲全体のメッセージから細部の表現に至るまで、それまでのやり方でこの曲に対して本当に責任が持てるのか?という疑問を、改めて自分自身に突きつけました。折しも芸術協会が6月12日に仙台で「師範・準師範合格者コンサート」を開催してくださいり、私もステージでこの曲を演奏することになりました。これが契機で私は、今までの自分の音楽づくりを敢えて一度解体し、根本から構築し直すことにしたのでした。

『別れの曲』のCDを、私は2枚持っています。ウラディーミル・アシュケナージとマウリツィオ・ポリーニという、ともに20世紀を代表する名ピアニストの演奏によるショパン曲集であり、私の若い頃からの愛聴盤です。知的で抑制の効いたアシュケナージと奔放で激情的なポリーニという、対照的な2人の演奏を改めて何度も聴き比べ、様々なヒントを彼らから貰いながら、私なりに『別れの曲』の世界をどのように創ったらよいか、その方法を真剣に模索しました。

『別れの曲』は、ショパンのオリジナルでは、第一テーマ／第二テーマ／第一テーマという展開の中で第二テーマにクライマックスが置かれていますが、佐藤秀廊編曲のハーモニカ独奏曲では、第一テーマが2回繰り返されて終わります。オリジナル曲に込められた「別離の悲哀→悲愴感と喪失感の激昂→現実許容と愛情」という主人公の感情的ドラマを、第一テーマの繰り返しの中でどうすれば効果的に表現できるか、試行錯誤を繰り返しながら苦慮しました。最終的に何とか、「これで行こう」という形に辿り着き、6月12日のステージでは、それまでの悪戦苦闘も含め、自分なりの解釈と表現を楽しんで演奏することができました。あまり緊張感に縛られない、不思議な時間でした。コンサート終了後には盛大なパーティが開かれ、尊敬する宇佐美進大師範から「素晴らしい!」とお褒めの言葉を頂いた時には、それまでの苦労が報われた気がしました。自分もこれでようやく、指導者として第一步を踏み出すことができたのだなど、実感した瞬間でもありました。

自分にはハーモニカ奏者として不十分な点がまだまだ多くありますが、今後はそれらを一つ一つ克服しながら己を磨き、ハーモニカという素晴らしい楽器が創り出す音楽と文化を、先達たちとともに支えていくことができれば、これに勝る喜びはありません。





れんめいひろばでは、読者の皆様からのハーモニカに関する「お役立ち情報」の提供や「教えて欲しい事」や「トピックス」等の投稿を歓迎します。☆新たに「つぶやき」コーナーを設けます。日頃考えていること、皆さんに語りかけたい事などを簡潔にまとめてご寄稿下さい。☆投稿者氏名と希望するタイトルを付けてワード文書をEメールに添付して編集室へお送りください。但し原稿内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

#### ◆峯ちゃん先生（山中由美子）

「峯ちゃん」とはどなた？ そうお思いでしょう。70年前のお話。古希を前にした私のハーモニカと初恋の回想です。

昭和29年早春。北に日本海、南に秀峰大山を望む鳥取県米子市が私の生まれた町です。山陰の商都ものどかな田園地帯でした。数日後、ご近所に男児が生誕します。そう、長じては大師範となる田邊峯光先生です。お家は目と鼻の先だったので幼い頃は子犬のようにじゃれて遊びました。子供心にお庭の池のせせらぎと、飾り棚にあった美しい石の標本を鮮明に覚えています。

やがて二人とも小学生となります。生徒数が多かった時代。同級になれたのは一度だけでしたが、彼は誰からも好かれる学級委員長としてキラキラしていましたね。

今思えば淡い恋心だったのかもしれません。なにかの折にプレゼントを渡しました。何をあげたのか全く思い出せません。ところが忘れた頃に峯ちゃんと付添（？）のお姉さんが来訪。「お返し」としてぬいぐるみをくださいました。それはディズニー映画「わんわん物語」のヒーロー。レザーの手触りはとても高価な品と思われました。羞恥心が嬉しさを上回り、母から促されても玄関に出られないまま時は過ぎ、淡い初恋は幕を閉じてしまいます。

それから幾星霜。私は奈良から隔週帰省しつつ両親の遠距離介護を担っていました。ある日見つけた父のハーモニカを持ち、奈良のハーモニカ教室の門を叩きます。老いゆく父を楽しませたい一心でした。少しずつ上達して懐メロから「荒城の月」「青葉の笛」。もう言葉を失っていた父が喜んでくれたのか、私の自己満足だったのか今となっては聞くすべもありません。

「佐藤秀廊ハーモニカ独奏曲集」に峯ちゃんのお名前を見つけたときは仰天しました。伯耆富士の峰に光さす情景から「峯光」。ご本人と確信しつつも連絡もとらず、実際にお目にかかるまで何年も過ぎてしまいました。

日暮里で初めてお目にかかった時は一瞬で時が巻き戻った感がありました。少年の心のまま『都会の絵の具に染まらず』精進されたのだと一目で分かりました。その後は勝手に「峯ちゃん先生」とお呼びし時にはメールを交わし、遙かにご活躍をお祈りしています。

『初恋の君に見えん日暮里や  
五十年経て峯ちゃんと呼ぶ』



# 昭和生まれ世代がハーモニカで幸せになる方法

北村サユリ

今回は、主に昭和生まれの世代の方が、どうすればハーモニカを今以上に楽しむことができるか、幸せになることができるかというお話しをしたいと思います。

世代というよりは個人の環境の影響が大きいのかもしれません、もしかしたら子どもの頃の時代背景が少し関わってくるのではないかと感じたので、今回はこのようなタイトルでお話しをさせていただいています。昭和世代といつてもかなり広範囲ですし、あくまで個人の考えですので、予めご了承いただいた上でお聞きくださいますようお願いいたします。

私は昭和51年生まれのですが、私と同世代の方やそれ以前にお生まれになった方の世代では、学校などの集団生活において、今以上にみんながいろんなこともしくは科目を平均的にできる能力を身につけることが求められていたように感じています。

個人や環境の差が大きいとは思うのですが、得意なことをより伸ばすというよりは、どちらかというと苦手なものを平均値に近づけるという教育を受けたように、私は感じています。

私自身の経験では、小学校に入学した直後に算数の成績がよくなかったため学習塾に通うことになりました、親が苦手だった書道や英語を習いに行っていました。それは、得意分野を伸ばすという発想ではなく、子どもに苦手なものを作らせない、みんなと同じようにできる子になるように、という発想だったと思います。

もちろん、それは親の愛情だったと思いますし、当時の社会を生きる上ではプラスになっていたと思います。

ただ、何事にもメリットもあればデメリットもあると思います。生徒さんのレッスンをしていて感じることは、できないことに意識が向きがちで、平均的に人と同じことをしないといけないという意識の強い方が多いように感じます。今思えば、私自身もかつてはその傾向にあったのかもしれません。

では、そのようなタイプの人は、どのようにすれば今以上にハーモニカを楽しむことができるのか、幸せになれるのかということについて、私なりに考えたことをお話ししたいと思います。

それは、できないことにフォーカスするのではなく、ご自身の得意なこと、楽しいと感じること、良い面を更に伸ばすという発想に転換することです。

「得意なこと、良いところなんてないわ」と思われる方もいらっしゃるかもしれません、得意なこと、良いところがゼロという人は誰一人いらっしゃいません。

難曲が吹けるなどということではありません。易しい曲だったとしても、音色がすごく素直で美しかったり、楽しそうに演奏されてたり、いつも選曲が素敵だったりなどなど、どなたにも必ず良い面はあります。

できないことに意識が向いていると、ご自身の良い面に気付きにくくなってしまいます。もちろん、できなかつたことができるようになるということもとてもよいのですが、できないことをネガティブ感情で捉えず、フラットな気持ちで受け止めることができます。

そして、ご自身の良い面を謙遜せず素直に受け止めて、それを更に伸ばす意識を持ってみてください。そうすることでハーモニカがより楽しくなり、自然と練習の方向性も見えてくると思います。

この話が当てはまるかもしれない少しでも感じられた方は、是非今日から発想を変えてみてください。参考にしていただけましたら幸いです。ありがとうございました。

# 全日本ハーモニカ連盟「8月2日はハーモニカの日」 プロジェクトの紹介（ご協力のお願い）

源馬英人

「8月2日はハーモニカの日」。この言葉を聞いたことのある方々も多いのではないでしょうか。最近、ハーモニカ関係団体の刊行物やホームページで、この言葉を目に入れます。関西ハーモニカ連盟でも、『ハーモニー』229号（2頁）と233号（17頁）において、「8月2日はハーモニカの日」に関する報告をしました。ハーモニカ愛好者には、「ハーモニカの日」の誕生は嬉しいことです。ここで事務局から会員の皆様に、「8月2日はハーモニカの日」がどのようにして、また何を目的として定められたのかを説明し、このハーモニカ活性化運動へのご理解とご協力を願いいたします。筆者は、全日本ハーモニカ連盟（以下、全連と記載）の常任理事を兼務していますので、その立場から「ハーモニカの日」誕生の経緯やこれまで行われた関連事業などについて説明をいたします。

## <「ハーモニカの日」の誕生>

「8月2日はハーモニカの日」は、2022年4月24日に開催された全連の『ハーモニカ・フォーラム2022』において田邊峯光理事長から提案され、出席者の満場一致で可決されました。8月2日が「ハーモニカの日」に選ばれた理由は、2002年に厚木市で日本初となった「アジア太平洋ハーモニカ大会」、およびその翌年のアジア大会一周年記念事業「あつぎサマーフェスティバル」の開催日の中に、共通して8月2日があったことです。（もう一つの愉快な理由として、ハ (8) 一・モ (month =月)・ニ (2)・カ (日) という語呂合わせもあります。）

実は、「ハーモニカの日」制定の案はすでに2021年から生まれており、全連常任理事会でその内容が検討されてきました。『フォーラム2022』での可決を受け、「8月2日はハーモニカの日」プロジェクト委員会が立ち上げられ、委員会はこのプロジェクトで何をすべきかを、会議を重ねて検討しました。

ハーモニカは、その小さな本体から驚くほど情緒豊かな音を出し、私たちの心を元気づけてくれます。この楽器の魅力を多くの若者や子供たちに伝え、ハーモニカを吹く喜びを分かち合い、ハーモニカ文化を活性化させたいという熱い願いが、「ハーモニカの日」制定の中心概念です。カレンダーの中に「ハーモニカの日」があれば、人々はこの日にハーモニカを意識し、日本全国でさまざまなハーモニカ活動が生まれる契機となるでしょう。こうしたことを踏まえ、プロジェクト委員会はその実現に向けて会議を重ね、「8月2日はハーモニカの日」を根づかせ、盛り上げるための具体的方法を検討しました。

## <趣意書の作成>

プロジェクト委員会は「8月2日はハーモニカの日」趣意書の作成を最初に行いました。当時の全連会長真野泰治氏と委員会執行部の連名による「8月2日はハーモニカの日」の宣言、および上記目標とハーモニカ愛好者への協力依頼を記した趣意書が作成されました。

## <ビデオ作成と公開>

趣意書作成に続き、プロジェクト委員会はビデオ・キャンペーンを行いました。日本各地の連名・団体の会員有志やプロ奏者たちの協力を得て、彼らの演奏をビデオ動画にまとめ、ユーチューブで公開しました。このビデオ動画を見た多くの人々からは、力強い賛同の声が寄せられました。

### <イメージ・キャラクター作成>

さらに、プロジェクト委員会はこのキャンペーンのシンボルとなるイメージ・キャラクターの作成を決めました。全国のハーモニカ愛好者が参加することで「8月2日はハーモニカの日」の運動が盛り上がるようとの願いから、全連はイメージ・キャラクターを公募しました。この呼びかけに応え、関西連盟会員を含む多くの方々から優秀な作品が提供されました。プロジェクト委員会は慎重に選考を行い、最優秀作品として「ハーモニカ150年祭」で使われたイメージ・キャラクターを選び、それに新たなデザインを施したものを使用することになりました。

### <ステッカー作成>

このキャラクターを一過性のものではなく、いつまでも愛されるマスコットに成長させるには、どうすればよいか——これがプロジェクト委員会の次の課題でした。委員会は二つの方法で解決策を考案しました。一つは、全国のハーモニカ愛好者からキャラクターの名前を募集し、名付け親になってもらうことです。人々はこのキャラクターの集団的「親」となることで、このキャンペーンに主体として加わり、全国的なハーモニカ文化の活性化を産み出す基盤を形成します。もう一つは、キャラクターをさまざまな形で広め、人々に親しんでもらい、「8月2日はハーモニカの日」の意識を喚起することです。その具体的方法としてプロジェクト委員会が採用したのが、ステッカーです。ステッカーを各地のハーモニカ連盟や団体の会員に頒布し、ハーモニカ・ケースや楽譜ファイルなどに貼ってもらえば、それをする度に、本人や周囲の人々のハーモニカへの関心が高まるだろうと、プロジェクト委員会は期待しています。

### <ご協力のお願い>

全日本ハーモニカ連盟は、全国各地のハーモニカ連盟や団体の協力を得ながら、このステッカーを利用して人々の間に「8月2日はハーモニカの日」の意識を高め、ハーモニカ文化を活性化させることを切望しています。

つきましては、関西ハーモニカ連盟もその志に賛同し、「8月2日はハーモニカの日」のステッカーを会員の皆様にお届けしたいと存じます。

このステッカーを契機として、全国のハーモニカ愛好者が一体となってハーモニカ文化を育てていく、持続的な運動の波が生まれることを願っています。

## 会員異動のお知らせ（2023年10月号）

2023.08.24 現在

組織部長 丸山茂生

当連盟では、従来2年毎に会員名簿を作成し、個人会員と団体会員代表者に限定し配布していましたが、会員名簿の取り扱いを慎重に検討した結果、今後は「個人会員および団体会員のデータ」を会報No.232(2023年4月号)の17頁に示したように取り扱うことと致しました。本「お知らせ」には新しく入会された方の住所は原則として市・郡(東京都は区名)まで記載しますが、ご事情のある場合は申し出て下さい。会報233号(2023年7月)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。(敬称略)

## (個人会員入会)

通番	会員番号	氏 名	〒	住 所	受付日
1	766	中尾 昌俊	590-	大阪府堺市堺区	2023.07.28
2	767	菊川 仁枝	593-	大阪府堺市西区	2023.07.28
3	768	中村 則子	599-	大阪府堺市中区	2023.07.28

## (2023年度：団体会員登録)

団体番号	団 体 名	代 表 者	会員数	受付日
1 81	ココカラザ公開レッスン教室	小野浩子	19→21	2023.06.06
2 105	チーム わ～さん	和田惟男	9→9(±1)	2023.07.05
3 91	ハーモニカアンサンブル ゆう・もあ～ず	阿部憲康	12→13	2023.07.18
4 9	ディアハーモニカアハーモニカサークル	高山美千代	18→19	2023.07.22
5 42	枚方ハーモニカ同好会	中村逸男	12→13	2023.07.24
6 57	ハーモニカ同好会いかるが	岩本洋之	10→11	2023.07.24
7 24	ハーモニカンズ・アバンドーネ	あらいなおこ	10→11	2023.07.24
8 30	朝日カルチャー中之島アンサンブル	大西素子	5→6	2023.07.24
9 74	NHKガーデンズ	松本千佳子	6→7	2023.08.24

(住所・~~番号~~等の変更・訂正)

通番	個人番号	氏 名	住所の変更	受付日
1	762	大八木加代	滋賀県高島市	2023.07.27
2	720	大八木 修	滋賀県高島市	2023.07.28

## (個人退会)

	個人番号	氏 名	理 由	受 付 日
1	556	小川 量平	自己都合	2023.07.14
2	196	平野満智子	自己都合	2023.07.24

2023.08.24現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の会員合計210名、団体会員は399名(43団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等  
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

## 編集後記

■関西ハーモニカ連盟の主たる目的は、  
A.ハーモニカの普及・発展、と  
B.会員相互の親睦を図ること、です。  
そして、会報「Harmony」の使命も上記目的の達成に寄与しなければなりません。

連盟では A または B、またはその両方を目的とした事業を毎年、または隔年ごとに企画し開催しています。

会報の場合は、その前半では、連盟機関誌としての連絡事項と共に、連盟が行う各種事業の実施状況について報告し、また実績として記録しています。

会報の後半では、会員が行っておられるハーモニカ活動、関西ハーモニカ連盟以外の組織やグループの動きとそこで活躍されている連盟会員のニュースなどが報告されています。また、

\*\*\*\*\*

## 次号締切日

Harmony 第 235 号（2024 年 1 月号）の原稿締切りは 11 月 11 日（土）会報編集室必着でお願いします。同封物締切りは 12 月 8 日（金）です。発行は 12 月中旬の予定ですが事情により変動する場合があります。

### お問い合わせに関するお願い

当連盟へのお問い合わせは下記の事務局長宛てにお寄せください。また、各部局へのお問合せ、編集局へのご寄稿、情報提供などは、e-mail でお寄せいただくか、写真や書類等でお送りいただく場合は送り先についてお問い合わせください。各部局長の連絡先は表紙裏の組織表に記載されているとおりです。（編集局）

## 関西ハーモニカ連盟 234 号（2023 年 10 月号）

発行人 吹上 晴彦（理事長）

編集人 もり・けん（編集局長）

事務局 源馬 英人（事務局長）〒520-2101 大津市青山 8-6-14

TEL (Fax) 077-549-3329

e-mail: [kansai.harmonica@gmail.com](mailto:kansai.harmonica@gmail.com)

公式ホームページ: <https://kansai-harmonica.org/>

印刷・製本 株式会社カード&メディア

会員相互の親睦に役立つ寄稿や情報を掲載しています。

「会報は新規会員の獲得、ひいてはハーモニカの普及に役立っているのか？」との質問を何度も受けてきました。残念ながら、会報は会員への配布以外はハーモニカ関連団体のリーダー等へ贈るのみで、一般の方々に配ったり、販売したりは出来ません。すなわち、会報は会員サービスとして発行されています。

会員以外の方にも広く連盟の事を知ってもらい、ハーモニカの楽しさをアピールする手段としてホームページを運営しています。

連盟の事業の一つである会報の発行とホームページの運営で編集局の任務を果たしていくまでの、会員の皆様には、目的に応じた活用をして頂ければ有難いと思います。（岩本洋之）





KANSAI Harmonica ASSOCIATION